

事業群評価調書(平成28年度実施)

| | | | |
|-------|---------------------------|-----------|----------------|
| 基本戦略名 | 4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる | 事業群主管所属 | 事業群⑦⑧:教育庁生涯学習課 |
| 施策名 | (1) いつまでも健康で活躍できる社会の実現 | 課(室)長名 | 事業群⑦⑧宮崎 誠 |
| 事業群名 | ⑦ 豊かな人生を支える県民の生涯学習環境の整備 | 事業群関係課(室) | |
| 事業群名 | ⑧ 地域の元気づくりのための社会教育の充実・活性化 | | |

1. 計画等概要

| | | | | | |
|--|---------------|--------------|-------------|-----|---|
| 【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)】 | | | | | |
| 《長崎県総合計画チャレンジ2020 本文》 | | | | | |
| ⑦価値観やライフスタイルの多様化が進む中で、それぞれのライフステージに応じた学習機会が得られ、その成果を社会生活や職業生活に活かすことのできる環境を整備します。 | | | | | |
| ⑧地域社会における人づくり・絆づくり・地域づくりを進めるため、社会教育の中核的な機能を有する公民館や図書館の活性化や地域を担う人材の育成を図ります。 | | | | | |
| 事業群指標 | 最終目標 (H32) | 基準値 (H26) | 実績 (H27) | 達成率 | 【進捗状況の分析】 |
| ⑦ながさき県民大学の講座受講者数 | 530,000人 | 526,661人 | 535,196人 | - | ⑦県民一人ひとりが豊かな人生を送るために、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができる環境づくりは大切である。県や市町、大学等で実施しているながさき県民大学の受講者数は県民の高度化・多様化したニーズに対応した講座も増えていることもあり、平成27年度の受講者数は前年度と比較すると増加している。今後も受講者が意欲的に生涯学習に取り組むことができるよう環境整備を進めていく必要がある。(H23:525,605人、H24:530,599人、H25:534,667人、H26:526,661人、H27:535,196人) |
| ⑧公民館職員等研修会及び県公民館大会、県社会教育研究大会参加者における満足度 | 90%以上を維持 | 98.0% | 99% | - | ⑧生涯学習環境の整備を進めるためには、各地域で活躍する社会教育関係者(市町社会教育主事、公民館職員、社会教育団体の加入者)の資質向上が不可欠であり、最新の社会情勢を踏まえた研修や、社会教育関係者への支援を行う本事業は必要不可欠である。また、高い専門性と県内広域における参加者の交流が必要な研修会等の実施は、市町や民間だけで行うことが困難である。加えて県と市町教育委員会や各社会教育関係団体等が連携し事業を行うことで、少ない人員・経費で県レベルの大会を開催することができ、費用や業務量に見合った活動結果が得られている。(H24:91%、H25:93%、H26:98%、H27:99%) |
| 事業群の進捗状況 | | | | | - |

| | |
|--|--|
| 【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)の分析】 | |
| 《取組項目及び現状と課題》 | |
| i)「ながさき県民大学」の充実など県民のニーズに対応した生涯学習環境の整備(事業群⑦) | |
| <p>県民の価値観・生活様式の多様化と生涯学習活動への意識が高まり、定年後も働き続けたいと考える高齢者及び社会活動や経済活動に関わる高齢者が増加している。それに伴い、県民が生涯を通じて元気に過ごせるための、健康寿命の延伸や個々のニーズに柔軟に対応できる生涯学習の充実が必要になってくる。また、県民や行政、NPO法人・ボランティア団体、企業などが連携、協働することにより、若者が参加しやすい条件整備や講座内容等の検討を進めるとともに、地方創生をふまえた子育て、防災、地域コミュニティの再生等をテーマとした講座の創設など、地域課題解決に向けた一層の取組の推進が課題となる。</p> | |
| ii)市町立図書館の支援など県立図書館の機能充実や新しい県立図書館の整備(事業群⑧) | |
| <p>・生涯学習において、図書館には多様化・専門化する人々のニーズに応え、さまざまな情報や資料を収集・保存・提供する大変重要な役割を求められる。しかし、各市町立図書館では予算等の関係から、住民が求める全ての資料や情報の収集は非常に難しい状況である。県立図書館では市町立図書館支援の方策として、協力貸出や協力レファレンス、また県内各図書館を職員が巡回し情報収集に努めると共に職員研修を充実させ実施している。県内の市町ごとの各図書館の職員のスキルや蔵書はまちまちだが、県民が住む地域によって提供される図書館サービスの格差を解消していくことは、県民の図書館サービスを確保する観点から大きな課題である。</p> <p>・県立長崎図書館は、昭和35年に建設され、老朽化が著しく、耐震性も満たしていない。また、少子高齢化、グローバル化及び情報化が進むなかにおいて、図書館に求められる役割は多様化、専門化しており、現在の狭い施設では対応が困難である。</p> <p>このような状況から、平成25年に「長崎県の知の拠点として県民を支える図書館」を基本理念とする「新県立図書館整備基本方針」を策定し、大村市立図書館との合築による県立図書館(仮称)を大村市に、県立図書館郷土資料センター(仮称)を長崎市に建設することとなった。</p> <p>新しい県立図書館の整備については、平成26年に同基本方針及び「新大村市立図書館整備基本方針」を踏まえて、期待される役割を果たしていくための基本的方向性、サービスや運営の考え方、建物の規模及び機能構成等を示した整備基本計画を策定し、平成28年度は大村市に整備する「県立・大村市立一体型図書館(仮称)」の建設に向けた設計作業を進めている。</p> | |

iii) 地域コミュニティを活性化する社会教育主事等の人材育成(事業群⑧)

近年の社会の急激な変化に伴い、家庭・地域の教育力の低下、人と人のつながりの希薄化、社会教育の担い手の減少等、様々な課題が浮き彫りになっている。

このような状況の改善を図るため、各種研修会、研究大会を開催し資質向上に努めている。

しかしながら県内各市町においては、社会教育を推進する上で重要な役割を担う社会教育主事や公民館職員の配置についても必ずしも十分とは言えない状況となっており、一人一人の資質向上がより重要になっている。

2. 27年度取組実績

| 取組項目 | 事務事業名 所管課(室)名 | 事業期間 | 事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円) | | | 事業概要 | | 指標(上段:活動指標、下段:成果指標) | | | | 事業の成果等 | 中核事業 | | |
|----------|-------------------------|------|------------------------|--------|---------|-----------------------|--|---------------------|---------------------------------------|---------|---------|---|---|-----|--|
| | | | H27実績 | 一般財源 | 人件費(参考) | 事業対象 | 事業内容 (事業の実施状況) | 指標 | 主な目標 | H27目標 | H27実績 | | | 達成率 | |
| | | | H28計画 | 一般財源 | 人件費(参考) | | | | | H28目標 | — | | | — | |
| 取組項目 i | ながさき県立大学事業 生涯学習課 | H20- | 3,863 | 3,863 | 5,639 | 県内に居住又は勤務・通学する者 | 県及び市町、大学等で実施している生涯学習に関する事業を体系化し、県民に学習機会を効果的に提供するとともに、学習成果を適正に評価することにより、県民の学習意欲を高め、地域における生涯学習の一層の振興を図った。 | 活動指標 | ながさき県立大学の講座数 | 2,500 | 2,439 | 97% | 講座情報の提供については、講座情報冊子「講座のご案内」とホームページ「ながさきまなびネット」を中心に、効率的な広報活動を行った。主催講座については、受講者の満足度は高く、受講後の学習意欲の向上も見られるなど成果があがっている。 | ○ | |
| | | | 3,094 | 3,094 | 5,646 | | | 成果指標 | ながさき県立大学(主催講座)における受講者の満足度(%) | 90以上 | 99 | 110% | | | |
| | 生涯学習情報提供システム整備 生涯学習課 | H18- | 9,319 | 9,236 | 8,862 | 県内に居住又は勤務・通学する者 | 県民が、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができる環境を提供するため、インターネットによる情報提供を行うシステムの整備を行った。現システムは平成14年2月から使用しているが、最近のインターネット環境に適用できていない部分もあり、平成28年10月からのシステムのリニューアルを目指し、新システム構築を図った。 | 活動指標 | 新着情報の掲載件数 | 55 | 55 | 100% | | | 平成27年度のシステムアクセス件数は前年度比87%であり、年間40万件を超えており、十分にニーズがあった。平成28年10月から「ながさきまなびネット」のリニューアルを予定しており、県民の申請や検索等の利便性を図るために準備を進めた。 |
| | | | 11,240 | 0 | 8,872 | | | 成果指標 | システムへのアクセス件数 | 480,000 | 422,200 | 87% | | | |
| | 県立学校地域開放推進事業 生涯学習課 | H15- | 5,306 | 5,306 | 1,611 | 県内に居住又は勤務・通学する者 | 県立学校において、優れた人材や充実した施設を活用した生涯学習講座を開設することにより、地域における生涯学習の一層の振興を図った。 | 活動指標 | 開設講座数 | 66 | 60 | 90% | | | 県立学校が持つ教育的・文化的な機能や施設を有効に活用し、地域住民へより多くの学習機会を提供している。また、本事業を通して県立学校の良さを知らせてもらい、開かれた学校づくりに寄与した。受講者の満足度も高い評価が得られている。 |
| | | | 5,490 | 5,490 | 1,613 | | | 成果指標 | 講座内容に対する満足度(%) | 95 | 99 | 104% | | | |
| 取組項目 ii | 管理運営費 生涯学習課 | | 136,929 | 29,941 | 193,344 | 県内に居住又は勤務・通学する者、公共図書館 | 図書館設置に関する支援(建設プランに対する助言、一括貸出による支援等)及び図書館の運営に関する支援(協力貸出、協力レファレンス、県内図書館ネットワーク(「長崎図書クロスねっと」)、職員研修の充実)を図った。 | 活動指標 | 実務研修会実施回数 | 4 | 4 | 100% | 県内公共図書館等への蔵書貸出冊数は、九州で最も多く、県立図書館の図書を市町に巡回して貸し出す協力車等を活用して県内公共図書館間の相互貸借も含め効果的に実施している。 | | |
| | | | 135,614 | 69,611 | 193,560 | | | 成果指標 | 県立図書館から市町立・学校図書館等への蔵書貸出冊数 | 53,600 | 55,621 | 103% | | | |
| | 新県立図書館整備費 生涯学習課 | H25- | 71,500 | 13,369 | 56,455 | 県内に居住又は勤務・通学する者 | 大村市に建設する「県立・大村市立一体型図書館(仮称)」の設計作業を行った。 | 活動指標 | — | — | — | 大村市や関係機関と協議を重ね、「県立・大村市立一体型図書館(仮称)」の設計作業を進め、設計の中間報告を行った。 | | | |
| | | | 135,815 | 22,128 | 56,392 | | | 成果指標 | 一体型図書館の設計 | — | — | | | — | |
| 取組項目 iii | 社会教育振興促進費 生涯学習課 | H16- | 2,717 | 2,717 | 11,278 | 社会教育関係者 | 県公民館連絡協議会及び県社会教育主事等連絡協議会との連携を深め、研修会や研究大会を通じて県内の公民館活動や社会教育活動の推進を図った。 | 活動指標 | 公民館職員等研修会及び県公民館大会、県社会教育研究大会参加者参加者数(人) | 1,860 | 2,115 | 113% | 社会教育の振興のためには、各地域で活躍する社会教育関係者の資質向上を図ることが不可欠であり、公民館大会、社会教育研究大会等を通して社会情勢や地域課題を踏まえたこれからの社会教育の在り方について研修を深めることができた。 | | |
| | | | 2,413 | 2,413 | 11,291 | | | 成果指標 | 公民館職員等研修会及び県公民館大会、県社会教育研究大会参加者満足度(%) | 90 | 99 | 110% | | | |
| | | | | | | | | 活動指標 | — | — | — | | | | |

3. 検証及び問題点の抽出

| |
|--|
| <p>【課題解決に向けて取り組んだ事務事業の実績の検証】</p> <p>i) 「ながさき県民大学」の充実など県民のニーズに対応して生涯学習環境の整備(事業群⑦)</p> <p>「ながさき県民大学」の主催講座では、20代から30代の受講者の割合は全体の12%となっており、今後、若者をターゲットにした講座内容の充実や受講しやすい時間帯の設定、また、スマートフォンに対応した広報など、若者が活用しやすい「ながさき県民大学」に今後取り組んでいく必要がある。また、県立学校地域開放講座においては、各学校へ講座開設のお願いを行い、各講座のアンケートでは受講者から高い満足度が得られた。</p> |
| <p>ii) 市町立図書館の支援など県立図書館の機能充実や新しい県立図書館の整備(事業群⑦)</p> <p>・市町立図書館等への蔵書貸出については離島地区への巡回回数増による支援の充実を図った。一方、市町立図書館職員等への研修については経験年数に応じた研修等を開催し、職員の資質向上に取り組んでいるが、社会環境が変化中、生活や仕事など多様化・専門化する県民のニーズ・課題に対する的確にサポートができる職員の育成が必要である。</p> <p>・新しい県立図書館の整備について、平成27年度は予定どおり「県立・大村市立一体型図書館(仮称)」の設計に着手し、具体的な設計作業を進めた。</p> |
| <p>iii) 地域コミュニティを活性化させる社会教育主事等の人材育成(事業群⑧)</p> <p>県内市町においては、専門的なスキルを持つ職員数が年々減少しており、その配置についても必ずしも十分とは言えない状況にある。平成27年度は、九州地区公民館大会を長崎県で開催するとともに公民館職員研修や社会教育研究大会、社会教育関係者スキルアップ連続講座等を通じて資質向上に努めているが、今後も地域の課題に対応できる人材育成がより一層必要となっている。</p> |

4. 29年度実施に向けた方向性

| 【問題点解決に向けた方向性】 | 【個別事務事業の見直し】 | | | |
|--|-----------------|---------|---|-------|
| | 事務事業名 | 事業構築の視点 | 見直しの方向 | 見直し区分 |
| <p>i) 「ながさき県民大学」の充実など県民のニーズに対応して生涯学習環境の整備(事業群⑦)</p> <p>県民や行政、NPO法人・ボランティア団体、企業などが地域課題解決に取り組むと共に、若者が参加しやすい条件整備や講座内容等について検討を進めることにより、県民が生きる喜びや張り合いなどの生きがいを感じるとともに、積極的に地域社会に参画し、県民一人ひとりが共に支え合う地域となることを目指す。</p> | ながさき県民大学事業費 | ② | 28年度は県及び市町、大学等で実施している生涯学習に関する事業を体系化し、県民に学習機会を効果的に提供するとともに、学習成果を適正に評価することにより、県民の学習意欲を高め、地域における生涯学習の一層の振興を図ってきた。29年度は若者をターゲットにした講座内容(消費生活支援ヤング講座、和服を楽しむ～着付け教室～など)の充実や受講しやすい時間帯の設定、また、スマートフォンに対応した広報など、若者が活用しやすい「ながさき県民大学」に取り組む。 | 改善 |
| | 生涯学習情報提供システム整備費 | ② | 28年度はシステムをリニューアルし、県民が、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができる環境を提供するため、インターネットによる情報提供を行うシステムの整備を行ってきたが、29年度はさらに魅力あるトップ画面デザインから、「講座・体験活動を探す」や「視聴覚教材を探す」など、県民の興味を引く機能を用意したり、スマートフォンに対応したりすることで、アクセス数の増加を図る。 | 改善 |
| | 県立学校地域開放推進事業 | - | 28年度は県内各地のより多くの学校において講座の開設をしてもらえるよう学校への広報を行った。今後も引き続き広報活動を行い、特色ある充実した講座を開設できるよう地域に根ざした学校づくりを目指す。 | 現状維持 |
| <p>ii) 市町立図書館の支援など県立図書館の機能充実や新しい県立図書館の整備(事業群⑦)</p> <p>・県内全ての図書館が相互に連携し、県民一人ひとりのニーズに対応できるだけのスキルをもつことを目指す。</p> <p>・新しい県立図書館の整備について、平成29年度からの建設に向けた作業を進める。</p> | 管理運営費 | ② | 県民の課題解決など新たな図書館サービスを提供できる図書館職員を育成するため県立図書館職員の専門性を高めるとともに市町立図書館職員の研修を充実させ県内全域における図書館サービスの充実向上を図る。 | 改善 |
| | 新県立図書館整備費 | - | この事業は、現施設の老朽化等を踏まえ、新しい建物を建設するため実施しているもので、今後も本事業を継続していく必要がある。 | 現状維持 |
| <p>iii) 地域コミュニティを活性化させる社会教育主事等の人材育成(事業群⑧)</p> <p>地域課題が多様化・専門化し、その解決や潜在的ニーズに対応するためには、社会教育の推進役である関係職員並びに団体指導者の果たす役割がますます重要になっている。「地域の元気づくりのための社会教育の充実・活性化」に向け、社会教育関係者に対する研修の機会と内容の充実を図り、資質向上に努め、各地域で活躍する人材の発掘、育成に力を入れ長崎県社会教育を担う人材育成をさらに推進する。</p> | 社会教育振興促進費 | ② | 28年度に社会教育関係者の資質向上のため実施している「長崎県社会教育関係者スキルアップ連続講座」について、29年度は内容の改善、周知や募集のあり方を工夫することで、県内市町の社会教育主事等の職務の理解や知識の習得を促進し、指導力や実践力、コーディネート力の向上に努めるとともに、県内社会教育関係者のネットワークを広げ人づくり・絆づくり・地域づくりを推進する。 | 改善 |